

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

立体模型を使って触察や立体的な観察をするための ICT 活用
「3Dプリンタ模型を使った観察」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部1年
	障がい名等	視覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 見え方に課題があり、文字や形をとらえたり板書を視写したりする際に間違える場合がある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	理科
	単元(題材)名	単元名「大地の変化」
	単元(題材)の概要	・ 身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震等について、大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	3Dプリンタ模型 
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○ 立体模型を使って、触察や立体的な観察ができるようにする。 〈工夫点〉 ・ 国土地理院の精密データを用いて、3Dプリンタで山の地形の立体模型を作成した。
	材料・作成方法等	3Dプリンタ 国土地理院データ (https://maps.gsi.go.jp/3d/)
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平面ではつかみにくい概形を把握することができた。 ・ 山の形の違いや特徴の違いを話し合うことができた。 ・ 観察した内容から気づいた事柄同士を結び付けて考えようとすることができた。

(令和3年度)